

第2次

小鹿野町 総合振興計画

2019~2028

～持続可能で幸せなまちづくりに
向けた十年を築くために～



©山口 清文

平成31(2019)年3月

花と歌舞伎と名水の町
小鹿野町

策定にあたって



小鹿野町は、平成 21 年 3 月に策定した第 1 次小鹿野町総合振興計画に基づき各種施策を推進し、計画的な行財政運営に努めてまいりました。

この間、本町を取り巻く社会経済情勢は、目まぐるしく変化し、少子化等に伴う人口減少や厳しい財政状況など、多くの課題が山積しています。

そこで、多様な課題に町民の皆様とともに取り組み、未来に向けて持続可能で幸せな小鹿野町を築くため、2019 年度からの 10 年間を計画期間とする「第 2 次小鹿野町総合振興計画」を策定しました。

本計画では、「文化の香り高く将来に躍動するまち」を将来像として掲げ、文化的側面の充実を図りながら、経済や人の賑わいといった活力が躍動するまちの実現を目指します。

また、「花と歌舞伎と名水の町」に象徴される本町の特色や町民の温かい人柄などの「小鹿野らしさ」を活かし、住むことに誇りが持てるまちづくりを進めてまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりましてご協力いただきました関係各位に心からお礼申し上げます、あいさついたします。

平成 31 年 3 月 小鹿野町長 森 真太郎

序文.....	1
1 策定の趣旨.....	2
2 計画の性格と期間.....	3
基本構想	5
第1章 まちの将来像.....	6
第2章 将来像実現に向けた重点目標と基本戦略.....	8
1 将来像実現に向けた重点目標.....	8
2 「自治力」と「ブランド力」で切り拓くまち（まちづくりの基本戦略）.....	9
第3章 施策の大綱.....	11
施策の体系.....	11
基本目標1 人口減少にまけなれい 小さくても輝き続けるまち.....	12
基本目標2 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生.....	13
基本目標3 かがやく未来へ おがの人づくり.....	14
基本目標4 すべての世代に配慮された社会保障の充実.....	15
基本目標5 快適で安心して暮らせる環境の整備.....	16
第4章 土地利用構想.....	17
第5章 計画達成のために.....	21
前期基本計画	23
基本目標1 人口減少にまけなれい 小さくても輝き続けるまち.....	24
1-1 住み続けたいまちづくり.....	24
1-2 地元出身者受け入れ環境の整備.....	28
1-3 移住したくなるまちづくり.....	30
1-4 交流活動の推進.....	33
1-5 外部人材などの活用.....	35
基本目標2 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生.....	37
2-1 農林業の振興.....	37
2-2 商工業の振興.....	41
2-3 観光の振興.....	45
2-4 起業・就労支援.....	49
基本目標3 かがやく未来へ おがの人づくり.....	52
3-1 幼児教育・保育の充実.....	52
3-2 学校教育の充実.....	54
3-3 生涯学習の充実.....	60
3-4 芸術・文化活動の充実.....	63
3-5 スポーツ・レクリエーションの充実.....	68
3-6 児童・青少年の健全育成.....	72
3-7 人権の尊重と男女共同参画社会の実現.....	74
3-8 県立小鹿野高等学校との協働.....	76

基本目標4 すべての世代に配慮された社会保障の充実.....	78
4-1 子どもから高齢者までの地域包括ケアシステム（ケアタウン）の充実..	78
4-2 子育て支援の充実.....	83
4-3 高齢者福祉の充実.....	86
4-4 障害者福祉の充実.....	88
4-5 保健・医療の充実.....	90
基本目標5 快適で安心して暮らせる環境の整備.....	95
5-1 地域整備と公共施設の有効活用.....	95
5-2 道路・公共交通.....	99
5-3 生活環境の充実.....	104
5-4 安心安全対策.....	108
まちづくりを支える行財政の基盤づくり.....	113
資料編.....	117
第1節 町の概況.....	118
1 埼玉県の西北部に位置し、広大な山岳地域を有するまち.....	118
2 美しい自然に囲まれたまち.....	119
3 歴史と伝統文化のまち（町の沿革）.....	120
第2節 人口.....	121
1 急激な人口減少と高齢化に直面しているまち.....	121
2 少子化による生産年齢人口の減少が進行しているまち.....	122
3 山間地域の過疎化が進行しているまち.....	123
第3節 産業.....	124
1 産業大分類別人口.....	124
2 製造業などの就業者割合が多いまち.....	125
第4節 行財政.....	127
第5節 町民の意識（平成29年度住民意識調査の結果）.....	128
1 町への愛着の有無.....	128
2 町の良さを満喫しながら暮らしているか.....	128
3 町の活性化のための協力への意向.....	129
4 生活環境や取組への評価.....	130
5 生活で支障となっていること.....	131
第6節 まちづくりに活かしたい町の宝物.....	132
第7節 各課所計画一覧.....	133
第8節 第2次小鹿野町総合計画策定にかかる諮問・答申.....	134
第9節 策定体制及び策定経過.....	138
1 策定経過.....	138
2 策定体制.....	140

序文

1 策定の趣旨

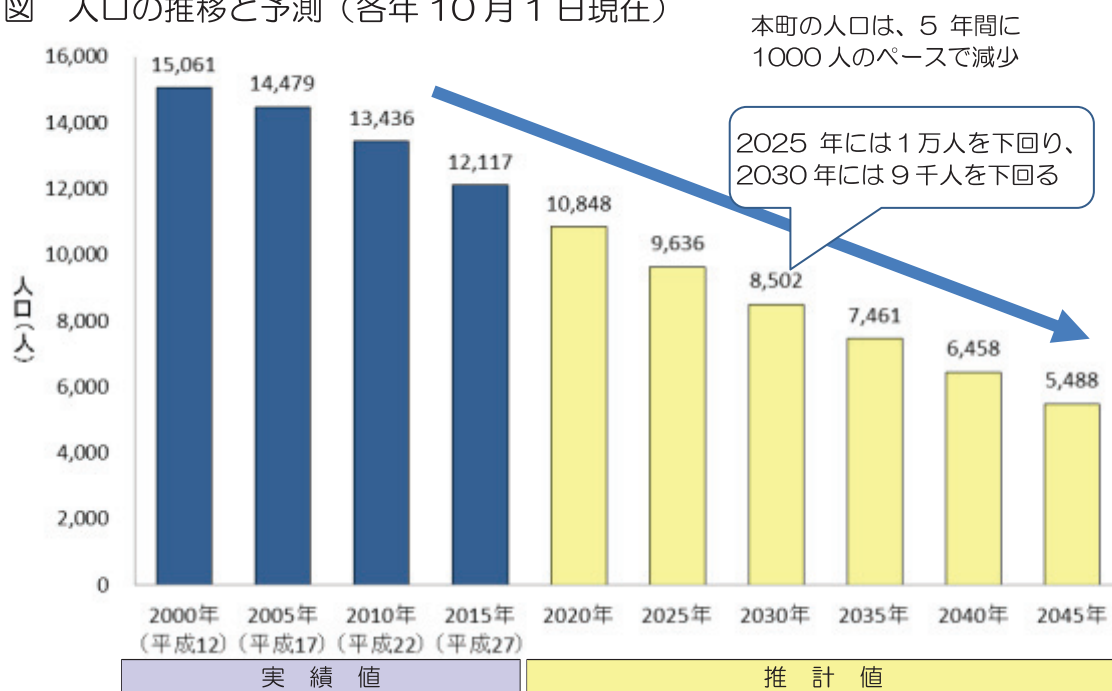
小鹿野町は、平成 17 年度に旧小鹿野町と両神村が合併して新制小鹿野町となり、平成 20 年度に第 1 次総合振興計画を策定しました。

現在は、急速な少子化により人口は減少を続けており、人口推計によると 5 年に千人のペースで減少し続け、2030 年には 9 千人を下回ると予測されています。

このままでは行財政の規模縮小に相まって、集落の自治機能の低下など、町民の生活に様々な支障をきたすことが考えられます。

町民の皆さまと、まちを取り巻く現状や危機感を分かち合い、町民と行政が知恵と力を合わせていくことによって、2019 年から始まる計画期間の 10 年を、持続可能で幸せな暮らしの礎を築いていく 10 年とするために「第 2 次小鹿野町総合振興計画（以下「本計画」）」を策定しました。

図 人口の推移と予測（各年 10 月 1 日現在）



資料：実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計

2 計画の性格と期間

本計画は「基本構想」、「基本計画」で構成し、町で定める全ての計画の最上位計画として位置付けるものです。

「基本構想」

基本構想は、本町が目指すまちづくりの基本的な方向性や目標を示すもので、これからの本町の将来像や重点目標と基本戦略、取り組むべき施策の大綱を示しています。計画の期間は 2019 年度から 2028 年度までの 10 年間です。

「基本計画」

基本計画は、基本構想が描くまちづくりを実現するため、施策の方向性を定めたものです。計画期間は、前期基本計画 2019 年度から 2023 年度まで、後期基本計画 2024 年度から 2028 年度までの各 5 年間です。

図 計画の期間

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
基本構想										
	基本構想 (2019年度~2028年度)									
基本計画										
	前期基本計画 (2019年度~2023年度)									
						後期基本計画 (2024年度~2028年度)				

